

2人の教師に尋ねる

2 生徒の力を借り、時に時間も委ねながら、生徒に必要な場をつくる

熊本県立第二高校 進路指導主事

山崎 一 やまざき ひとし

生徒の状況をつぶさに見て、
必要な場をつくる

臨時休業期間中、本校でも多くの教師が登校日に、あるいはオンラインで、生徒に課題を配布したり、授業動画を配信したりしました。ただ課題を渡すのではなく、学習のモデルスケジュールも提示し、家庭学習のリズムがつけられるように支援もしました(図)。数学科では、単



熊本県立第二高校
進路指導主事
山崎 一
やまざき ひとし

教職歴17年。同校に赴任して10年目。2016年4月の熊本地震発生時は、同校で3学年担任を務めていた。数学科。

元の理解度を測る小テストを登校日に配布し、自宅で30分間取り組み、解答をスマートフォンなどで送信させるようにしました。

そうした取り組みによって、5月末まで、各教科の履修進度に大きな遅れは生じていません。しかし、臨時休業中の課題の提出状況や授業動画に対するアンケートの結果などから、生徒の学力差はやはり生じていると考えています。

2016年4月に発生した熊本大地震の時、本校は5月中旬まで、約1か月間の休校を経験しました。生徒の家庭の被災の程度は様々でしたが、避難所生活で勉強どころではなく、学習に遅れが生じる生徒も少なからずいました。当時は、学校再開後、特に3年生には、週末に教室

を自習スペースとして開放することなどを通じて、生徒の学習を支えました。今回も、生徒の状況を見ながら、朝の始業前の時間や放課後を使った学び直しの場を設けることなどを、必要に応じて考えていきます。

生徒たちのアイデアを
吸い上げる力が求められる

全国高等学校総合体育大会などが中止となり、学校行事の多くも、例年通りに実施できるかどうか分からない中で、生徒たちは気丈に振る舞っています。でも、その胸の中には、割り切れないものがあるはず。クラス担任や教科担任とのコミュニケーションが十分に取れていない状態で、もしも新型コロナウイルスの「第2波」が襲ってきたら、3年生の受験に向かうモチベーションはどうなるのかと心配しています。悩みや困り事を気軽に相談してもらえるような生徒との関係を、学年団の教師ができるだけ早く築くことが重要だと思います。

そして、「目標に向かってみんなで頑張ろう!」といった、学校・学年としてのまとまりを感じる場をつくることも必要です。熊本地震の時には、地震の翌日に予定されていた全校生徒で行うバス遠

臨時休業期間中の特別時間割

8	金	SHR	化学 ハロゲン 資料番号 188-192	2020年の高校 長文読解 読解力を鍛えよう	物理/生物 動物/植物 シラカシの学習 第1回	数学Ⅱ 微積分Ⅱ 資料番号 193-195	国語 読書 資料番号 196-197	地理歴史 世界史 資料番号 198-199	現代文Ⅰ 読解力 資料番号 200-201	体育 資料番号 202-203	音楽 資料番号 204-205	美術 資料番号 206-207	家庭科 資料番号 208-209	英語 資料番号 210-211	特別活動 資料番号 212-213	保健 資料番号 214-215	職業科 資料番号 216-217	その他 資料番号 218-219
9	土	土曜日	土曜日															
10	日	日曜日	日曜日															
11	月	登校日	休校															
12	火	SHR	数学Ⅱ 可微分性 資料番号 193-195	物理/生物 動物/植物 シラカシの学習 第2回	化学 有機化学 資料番号 196-197	国語 読書 資料番号 198-199	地理歴史 世界史 資料番号 198-199	現代文Ⅰ 読解力 資料番号 200-201	体育 資料番号 202-203	音楽 資料番号 204-205	美術 資料番号 206-207	家庭科 資料番号 208-209	英語 資料番号 210-211	特別活動 資料番号 212-213	保健 資料番号 214-215	職業科 資料番号 216-217	その他 資料番号 218-219	
13	水	SHR	化学 有機化学 資料番号 196-197	物理/生物 動物/植物 シラカシの学習 第3回	数学Ⅱ 微積分Ⅱ 資料番号 193-195	国語 読書 資料番号 198-199	地理歴史 世界史 資料番号 198-199	現代文Ⅰ 読解力 資料番号 200-201	体育 資料番号 202-203	音楽 資料番号 204-205	美術 資料番号 206-207	家庭科 資料番号 208-209	英語 資料番号 210-211	特別活動 資料番号 212-213	保健 資料番号 214-215	職業科 資料番号 216-217	その他 資料番号 218-219	
14	木	SHR	化学 有機化学 資料番号 196-197	物理/生物 動物/植物 シラカシの学習 第4回	数学Ⅱ 微積分Ⅱ 資料番号 193-195	国語 読書 資料番号 198-199	地理歴史 世界史 資料番号 198-199	現代文Ⅰ 読解力 資料番号 200-201	体育 資料番号 202-203	音楽 資料番号 204-205	美術 資料番号 206-207	家庭科 資料番号 208-209	英語 資料番号 210-211	特別活動 資料番号 212-213	保健 資料番号 214-215	職業科 資料番号 216-217	その他 資料番号 218-219	
15	金	SHR	化学 有機化学 資料番号 196-197	物理/生物 動物/植物 シラカシの学習 第5回	数学Ⅱ 微積分Ⅱ 資料番号 193-195	国語 読書 資料番号 198-199	地理歴史 世界史 資料番号 198-199	現代文Ⅰ 読解力 資料番号 200-201	体育 資料番号 202-203	音楽 資料番号 204-205	美術 資料番号 206-207	家庭科 資料番号 208-209	英語 資料番号 210-211	特別活動 資料番号 212-213	保健 資料番号 214-215	職業科 資料番号 216-217	その他 資料番号 218-219	
16	土	土曜日	土曜日															
17	日	日曜日	日曜日															
18	月	SHR	化学 有機化学 資料番号 196-197	物理/生物 動物/植物 シラカシの学習 第6回	数学Ⅱ 微積分Ⅱ 資料番号 193-195	国語 読書 資料番号 198-199	地理歴史 世界史 資料番号 198-199	現代文Ⅰ 読解力 資料番号 200-201	体育 資料番号 202-203	音楽 資料番号 204-205	美術 資料番号 206-207	家庭科 資料番号 208-209	英語 資料番号 210-211	特別活動 資料番号 212-213	保健 資料番号 214-215	職業科 資料番号 216-217	その他 資料番号 218-219	

家庭学習に円滑に取り組めるよう、5月の連休明けからの特別時間割を、全学年、全コース分、教務部が作成した。熊本県教育委員会が、県立学校における臨時休業の長期化を見据えた学習支援に関する基本方針を出した際、同校の特別時間割が実践例として紹介された。

*学校資料をそのまま掲載。

足を、1学期の終業式の日を実施しました。生徒が楽しみにしていた行事という理由だけでなく、「学年を超えて生徒が交流する重要な教育活動として欠かすことはできない」という教師らの声によって、時期をずらして実現したのです。今

年度は、「3密」を避けるためにバス遠足は実施できないかもしれませんが、その代わりに何ができるのか、先生方と話し合おうと考えています。そして、学校としてどんな場をつくれればよいかを考える際には、ぜひ、発想力豊かな生徒の力を借りたいと思っています。今後、「部活動でお世話になった先輩たちのために、何か思い出になるようなことをやりたい」などと、1・2年生が声を上げることは十分考えられます。そうした時は、生徒のアイデアと意見を丁寧に吸い上げて、よりよい形で実現できるようにサポートしていくのが、私たち教師の役割になってくるはずですよ。

生徒を焦らせず、時には生徒に時間を委ねる

震災を経験した生徒に向き合う際、私たちが気をつけたのは、危機感を煽らないことでした。本校は、熊本県内でも特に震災による被害が大きく、生徒たちは「自分たちは他校の生徒よりも学習が遅れている」と、心配していました。そこで、私たちは「大丈夫」「間に合う」と、生徒に何度も声をかけました。

今年度は、本校も夏季休業を短縮し、授業時数を確保することとしました。た

熊本県立第二高校

- ◎創立の精神は「自主積極・廉恥自尊・礼節協調」。自由闊達な校風の中で次世代を担う人材を育成。2003年度から4期継続してSSH(*)の指定を受ける。普通科、理数科、美術科の3学科が協働・融合し、科学的視点を取り入れた教育を展開する。
- ◎設立 1962(昭和37)年
- ◎形態 全日制/普通科・理数科・美術科/共学
- ◎生徒数 1学年約400人
- ◎2020年度入試合格実績(浪浪計)
国立大は、筑波大、東京藝術大、東京大、広島大、九州大、熊本大などに236人が合格。私立大は、中央大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ441人が合格。
- ◎URL <https://kumamoto-d2hs.ed.jp/>

だ、そうした中でも、生徒が自由に使える時間をつくってあげたいと思っています。部活動の仲間と過ごす時間、教師と進路について語り合う時間は、3年生だからこそ必要です。あくまでも一案ですが、教師に質問や相談をしたり、友人と話し合ったりするための、生徒が自由に使える時間を、あえて時間割の中に見える形で設け、生徒に時間を委ねるのもよいかもありません。

「焦ることはない」と、生徒が安心してできるように、前例に縛られず、生徒の力も借りながら、本校としてのよりよい3年生支援のあり方を考えていきたいと思っています。

*文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール。